

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 1 回	権利擁護部会	
日 時	令和元年 5 月 2 1 日 (火) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分		
会 場	中央福祉センター 集会室		
出 席 者	部会員 6 名	市職員 2 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり)		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 成年後見制度勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志水さんが成年後見の勉強会のチラシを回覧してくださる。 ・ 時期について 12 月に差別解消法、11 月に避難訓練があるので、9 月と 2 月で検討しているが、成年後見センターが部会員として入っていただいているので、9 月でお願いできないかと思っている。 ・ 内容は障害のある親御さん向けで、分かり易く、成年後見制度の入口の部分をお願いしていきたい。 <p>→ 成年後見センターの石井さんは紙芝居を使用して市民向けに講座を行ったこともあり、そのような方法であると分かり易いかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 度聞いて分かった気になっても、親御さんも高齢の方が多いので、忘れてしまうことが多い。何回も伝え行くべき。 		

- ・成年後見制度自体、名前を聞いたことがある程度という方もいらっしゃる。困る前に知識を持っておくと良い。困ったら関わっている施設が調整してくれると思っている親御さんが多いことも現状にある。
- ・実際に成年後見センターが関わっているケースの方で A 判定の障害のある 80 代の親御さんは、5 回話をして分かってくださった。
→毎年行っていくことで分かるということもあるかもしれないため、数を重ねていくことが重要になる。
- ・広く浅く親御さんにゼロからお話して、いつ誰が何をしてくれるのか、困ったときに成年後見センターがあるという認識を持っていただけると良い。
- ・9 月 20 日、27 日を候補として中央福祉センターの部屋の状況を確認するも、多機能室が空いていないため市民会館の展示ホールの空き状況を確認し、空いている日程で行う。

3 障害者虐待防止勉強会について

- ・前回のアンケート結果より「難しかった」「もっと事例を行いたかった」という内容があがっていた。
 - ・内部だけで初歩的な部分から学ぶ機会を持つか、虐待の講座も入り方によって内容がことなるため、どのようなことを知りたいと考えているのか、実際に事業所にアンケートを取るのはどうか。
 - ・日進市のシステムや体制についても前回話す機会がなかったため、実際にどれだけの方が理解をされていたか確認したうえで話すことができると良い。
 - ・各事業所の虐待防止に関しての取り組みについても知れると良い。レジデンス日進では、月に 1 回目標を設定したり、法人としてヒヤリハットの検討を行ったりしている。
 - ・事業所の施設長から職員に向けた講義と、外部の講師とでは学びの重みが違うと思うので、このような機会があるとよい。また、意見交換ができるような場もあると職員の質も上がると思う。
- アンケート結果からどのような内容にするか決めていくことに。
- ・アンケートは 6 月中旬には送り、次回の部会までに集計できると良い。内容を確認してもらうためにアンケート案をメールさせていただく。

4 災害時支援について

- ・今年もレスキューストックヤードの方をお願いして行う予定で、

	<p>現在市役所とレスキューストックヤードの方と打合せを行っているとのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、詳細が分かり次第お伝えしていく。 ・避難所開設訓練に向けたワークショップについては、出れそうな人で参加していけるようにしていく。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームに関して 現在きまもり会のグループホームでは、土日は帰宅するようにしており、昼間の報酬が出ない。他の市町村では、市の事業として1人いくらか報酬ができるようになっているところがある。→これを拡げていけたらと思う。 										
<p>今回確認事項</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 723 459 801">①</td> <td data-bbox="459 723 1420 801">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 801 459 891">②</td> <td data-bbox="459 801 1420 891">成年後見制度勉強会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 891 459 981">③</td> <td data-bbox="459 891 1420 981">障害者虐待防止法について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 981 459 1070">④</td> <td data-bbox="459 981 1420 1070">災害時支援について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1070 459 1149">⑤</td> <td data-bbox="459 1070 1420 1149">その他</td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	成年後見制度勉強会について	③	障害者虐待防止法について	④	災害時支援について	⑤	その他
①	前回の振り返り										
②	成年後見制度勉強会について										
③	障害者虐待防止法について										
④	災害時支援について										
⑤	その他										

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	権利擁護部会
日 時	令和元年 5 月 2 1 日（火） 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	
会 場	中央福祉センター 集会室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
① 山田 達巳	②
① 興梠 精視	③
① 青木 翔太（欠席）	④
① 鈴木 重行	⑤
① 三林 紫帆里	⑥
① 志水 くに子	⑦
①	⑧
①	⑨
①	⑩

（市職員）

① 野村 圭一	② 桑島 萌
③	④

（事務局）

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 3 回	権利擁護部会	
日 時	令和元年 7 月 1 6 日 (火) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分		
会 場	中央福祉センター 小会議室		
出 席 者	部会員 7 名	市職員 1 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり)		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 成年後見制度勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 2 7 日 (金) 1 3 時半から市民会館の展示ホールにて開催する。講師は尾張東部成年後見センターの住田さん。 ・ 圏域であれば講師料はかからない。 ・ 豊明で行った勉強会では、成年後見制度を使わない場合どうなるかという事例を通して行った。 <p>→事例があると分かりやすいため、このような形式だとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容についてはテーマに沿って住田さんが考えてくださることになる。 ・ 対象はご家族で、両親だけでなく兄弟にも来てもらえるようなチラシになるとよい。 ・ テーマ候補 「はじめての成年後見制度」 		

「明るい未来のために」

「知って得する成年後見制度」

→「知って得する成年後見制度」にすることになる。

→また、チラシが出来上がり次第、メールで確認していただき、8月中旬には周知ができるようにしていく。

3 障害者虐待防止勉強会について

・前回の部会后、アンケートを作成し市内の事業所に回答をしていただいた。アンケート結果をもとに内容を考えていく。

・日進市内の事業所から事例だして検討するというのはどうか。

→事例を出すことに関してはよいが、虐待かどうか気づいていないと事例として出すことは難しいかもしれない。

・交流を希望しているところも多いので、まず、事業所勉強会とかたちで行うのはどうか。

・テーマをいくつか決めて行うのはどうか。

・講師の方によっては、考え方が異なることがある。講師を呼ぶだけにするのか。グループワークもすべてお願いするのか。

・この事例は虐待だけど自分のところでは違うなど、外部講師から事例を出してもらおうほうが気づきがあるかもしれない。

・事業所としては、自分の事業所の事例のほうが利用者さんに当てはめて考えることができるので分かり易いかもしれない。

→事例に対して総評を講師の方からいただくかたちか、講師の人に事例をもってきてもらうかどちらがよいか考えていくことにする。

・市内の事業所から事例を出すとしても、管理者と事前に打ち合わせをおこなう。

・圏域アドバイザーの大谷さんに講師をお願いするのも良いかもしれない。

・日進の課題を複数のサービス使っている人がバラバラの支援をしているのはよくないため、このような機会に共有できるとよい。

→外部の方に1時間ほど講義をしてもらい、事例についてはお願いする講師のかたに相談していくことに

・開催予定の月としては2月。

4 災害時支援について

・避難所開設訓練に関して7月24日にまずは講演会があるため、出席可能な方は出席していく。

・今後ワークショップ等の日にちは確定次第またお知らせしていくことになる。

	<p>5 その他 グループホームの土日の昼間の支援について ・補助ができるのは、1日 2210 円となる。 9時から 16 時と考えた際に、7 時間勤務としても時給にも値しないため、やりくりが難しい。</p>	
<p>今回確認事項</p>	<p>①</p>	<p>前回の振り返り</p>
	<p>②</p>	<p>成年後見制度勉強会について</p>
	<p>③</p>	<p>障害者虐待防止法について</p>
	<p>④</p>	<p>災害時支援について</p>
	<p>⑤</p>	<p>その他</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	権利擁護部会
日 時	令和元年 5 月 2 1 日 (火) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分	
会 場	中央福祉センター 集会室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
① 山田 達巳	②
① 興梠 精視	③
① 大嶋 翔太 (欠席)	④
① 鈴木 重行	⑤
① 三林 紫帆里	⑥
① 志水 くに子	⑦
①	⑧
①	⑨
①	⑩

(市職員)

① 野村 圭一	② 桑島 萌
③	④

(事務局)

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 3 回	権利擁護部会	
日 時	令和元年 9 月 1 7 日 (火) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分		
会 場	中央福祉センター 小会議室		
出 席 者	部会員 6 名	市職員 2 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり)		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 成年後見制度勉強会について 9 月 2 7 日 (金) 当日の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 2 時に市民会館展示ホール集合で準備を行う。 ・ 成年後見制度のリーフレットとパンフレットを当日配る。 ・ 近藤さんはデータを持ってきてもらい、1 2 時からパワーポイントが映るかを試していく。 ・ アンケートを作成する。内容としては、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 制度利用を考えている方との関係 ○ 以前から成年後見について知っていたか ○ 今後利用したいと思うか ○ どのくらい理解できたか ○ 参加した理由 等 <p>→ また作成案をメールで確認していただくことにする。</p>		

3 障害者虐待防止勉強会について

・講師について

圏域アドバイザーの大谷さんにお問い合わせしたところ、引き受けるのは難しいということだった。熊谷さんに予定を聞いたところ、2月22日以外であれば大丈夫であるということだった。

・日程について

場所は中央福祉センターの多機能室は土曜日はすでに空いていないため、日進市民会館の展示ホールで考えている。市民会館の展示ホールで空いている日を確認したところ、2月1日か29日であれば、1日空いているということだった。準備期間のことを考えると、2月29日のほうが良いかもしれない。

→2月29日 10時から12時半 (開場 9時半)

日進市民会館 展示ホール で行うことになる。

・内容について

時間は、講義60分と事例検討90分

2事例だと考えても、20分ずつと発表で90分程度になると思う。

→事例について熊谷さんに聞いたら、事業所から出してもらった方がよいということであったため、事例をどのように出していくのか、また熊谷さんも含め打合せを行っていくことにする。

→事例の出し方も統一させた方がよい。虐待と思われる事例なのか。虐待かどうかを知りたい事例か。

・申込締切を2週間前にしたら、その中から事例を出してもらえる方を決めていけるのではないか。

→次回までに熊谷さんと打合せを行い、どのように事例を出してもらうか、様式、チラシ案まで作成できるようにする。

4 災害時支援について

・7月24日に香久山小学校の会議室で講演会があり、資料を基にレスキューストックヤードの浦野さんからお話があった。

・8月31日に HUG が市役所であった。梨の木小学校区の時とはまた違った雰囲気だった。

・次回は9月18日にワークショップが開催される。

危機管理課よりサポートブックを配布し、20分ほど話をしてほしいということだったため、興梠さんにお問い合わせする。

5 その他

障害者差別解消法の講演会について

	<p>障害者政策委員会の先生より、当事者に知ってもらう機会も必要ではないかという話があったため、今までは市民や市役所職員向けに行っていたが、当事者に向けて行えたらと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国でもどのようなことが差別になるのかという差別解消の事例集があるので活用しながら話ができるが良い。 ・当事者向けとなると、時間帯はいつがよいか。 <p>→今までは、平日の午前中や午後だったが、事業所として参加するのであれば、平日の午後等が参加しやすい、また、家族が連れていくとなるとまた時間帯が変わる。</p> <p>→また、講師の先生と相談して決めていくことにする。</p>										
<p>今回確認事項</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 618 459 707">①</td> <td data-bbox="459 618 1428 707">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 707 459 797">②</td> <td data-bbox="459 707 1428 797">成年後見制度勉強会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 797 459 887">③</td> <td data-bbox="459 797 1428 887">障害者虐待防止法について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 887 459 976">④</td> <td data-bbox="459 887 1428 976">災害時支援について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 976 459 1059">⑤</td> <td data-bbox="459 976 1428 1059">その他</td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	成年後見制度勉強会について	③	障害者虐待防止法について	④	災害時支援について	⑤	その他
①	前回の振り返り										
②	成年後見制度勉強会について										
③	障害者虐待防止法について										
④	災害時支援について										
⑤	その他										

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第3回	権利擁護部会
日 時	令和元年9月17日（火）13時30分～15時30分	
会 場	中央福祉センター 小会議室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
② 山田 達巳（欠席）	②
③ 興梠 精視	③
④ 大嶋 翔太	④
⑤ 鈴木 重行（欠席）	⑤
⑥ 三林 紫帆里（欠席）	⑥
⑦ 志水 くに子	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

（市職員）

① 野村 圭一	② 桑島 萌
③	④

（事務局）

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 4 回	権利擁護部会	
日 時	令和元年 11 月 19 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分		
会 場	中央福祉センター 集会室		
出 席 者	部会員 5 名	市職員 1 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり)		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 成年後見制度勉強会について 9 月 27 日の振り返り (アンケート結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容はわかりやすいという意見があったので良かった。 ・話の中で、具体的な内容 (8 万円の鉄道模型を購入するか) があったので、イメージが持ちやすかったと思う。 ・普段開催がある成年後見制度の勉強会は高齢者の話題が多いので、今回障害のある方向けの話だったので分かりやすかったという意見もでていた。 ・いずれ利用したいと関心を持った方が多かった。 ・講演終了後事業所の利用児の保護者と話した際には、考えるきっかけになったが、もう一度聞きたいという方がいた。 <p>・尾張東部権利擁護支援センターの住田さんにもアンケート結果</p>		

を見ていただいた。

- ・講演を聞いた方から成年後見制度についてさらに聞きたいという方もおり、講演後に住田さんに直接相談された方と、その後連絡が入り相談された方がいらっしやった。
- ・1回のみでは理解が難しいので何度か続けていけると良い。
- ・来年も今年と同じようなパターンで行ってみて、講演の後に相談ブースなどを作って、講演を聞いたついでに個別に相談できるという環境があると良いと思った。
- ・何度か繰り返し行うことで、成年後見制度を利用する抵抗をなくしていけるとよい。

3 障害者虐待防止勉強会について

- ・講師をお願いする熊谷さんと先日打合せをおこなった。

(グループワーク)

- ・熊谷さんの今までの経験から事例を出すこともできるが、身近なものではなくなってしまうので、検討するのであれば参加していただく事業所から出していただけるとよいという話があった。
 - ・グループワークの手法としては、インシデントプロセス法を用いて行う。
 - ・どのような事例をどのような方法で出していくかというところに関しては熊谷さんがケアマネ部会の講義の際に使用したものを参考に進めていくことになる。
- ケアマネ部会で学生向けに行ったグループワークの際には、事例の出し方に関しては難しくなかったが、その時の情報を聞き、問題を固めていくため、時間がかかった。ファシリテーターも手順をしっかり理解しておかないと大変だと思う。
- ・すすく園では事例を検討する際にインシデントプロセス法を用いているということで、当日は障害者相談支援センター相談員とすすく園の保育士がファシリテーターを行うことができればと考えている。
 - ・グループワークは1グループ5～8人で行う予定。
 - ・虐待かもしれないという事例だと出しづらいのではないかと、普段生活している中で困っている事例、不適切なのではないかと思う事例をだしていただくことになる。
 - ・事例を集めてから当日検討を行うため2月中旬に出していただいた事例をもとに打合せを行っていく。
 - ・尾張東部権利擁護支援センターが主催の講演会で、前もって質問を受け付け、それに対してお答えするという形式で行った際に、わかりやすいという意見が出た。今回のように事例だと難

しいのではないか。

→周知の段階から事例を出していただくということをオープンにすると、参加者が少なくなってしまうため、申し込み後にお伝えしていくことにする。

(講義)

- ・講義の内容としては権利擁護の視点を持って関わっていれば、虐待にならないということを伝えるもの。
- ・各事業所は個別支援計画を作成するため、作成するにあたってのアセスメントの重要性についても話していく。
- ・以前のアンケート結果から障害特性について知りたいという回答が多くあったが、時間が足りなくなってしまうため、あくまで権利擁護の視点について話していただくことにしていく。

(チラシ)

- ・虐待防止と大きく掲げないようなテーマにしていく。

→「知って得する適切な関わり～権利擁護を考えよう～」

- ・周知先は市内のすべての事業所に声をかけていく予定。
- ・昨年は民生委員さんにも声掛け等を行ったことから今年も周知をしていく。
- ・周知に関しては、12月中に簡単な案内を行い、年明け1月頃にチラシを配布していく。

4 災害時支援について

- ・11月10日に香久山小学校で避難所開設運営訓練が開催された。
- ・香久山と岩崎台、地域ごとで体育館に集まり、その後ブースをまわり、各班からの説明を受ける時間があった。
- ・ワークショップの際に、サポートブックの説明があったため、要援護者や障害のある方に対する意識がとても高かった。
- ・ワークショップを行ってから訓練を行ったため、スムーズに行うことが出来た。身体障害者用のトイレが狭い、車いすで移動する際に段差がある等課題があった。

5 その他

(障害者差別解消法の講演会について)

- ・毎年12月に開催しているが、依頼予定であった講師の方がお忙しい方なので、圏域アドバイザーの大谷さんにどなたかいないか打診中。年度内には開催していきたいと思っている。

(自立支援協議会 11/18 の報告)

- ・計画の評価について
- ・災害時支援について
- ・親亡きあとについて

今回確認事項

① 前回の振り返り

	②	成年後見制度勉強会について
	③	障害者虐待防止法について
	④	災害時支援について
	⑤	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	権利擁護部会
日 時	令和元年 11 月 19 日（火） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分	
会 場	中央福祉センター 集会室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
① 山田 達巳	②
① 興梠 精視（欠席）	③
① 大嶋 翔太	④
① 鈴木 重行	⑤
① 三林 紫帆里（欠席）	⑥
① 志水 くに子	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

（市職員）

① 野村 圭一	②
③	④

（事務局）

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 5 回	権利擁護部会	
日 時	令和元年 1 月 2 1 日 (火) 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分		
会 場	中央福祉センター 集会室		
出 席 者	部会員 4 名	市職員 1 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり)		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 障害者虐待防止勉強会について 申込状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の申し込みは 3 名となっている。 ・愛歩からは 41 名の予定。現在出欠をとっているため、また名簿をいただくことに。 ・愛歩からは正規職員とパートで分けて名簿をいただく。 ・参加していただけるように、相談員からも声をかけていく。(設営について) ・前日市民会館の空きがなかったため、9 時から設営開始とする。 ・グループは申込がきてからグループ分けを事務局が行う。 ・グループの進行役、ファシリテーターは相談員 12 名、足りない分は熊谷さんに相談していくことに。 ・部会員もお願いすることになるかもしれない。その際には、事前に打ち合わせを行う。 ・事例については、愛歩の正規職員のかたと、出てきてくださる 		

事業所に随時声掛けをしていく。

- ・フォーマットは熊谷さんにだしてもらおう。
- ・一つの事例を全て行うか、3 つほど出していただき、何グループかで行うか。もう一度熊谷さんに聞いていくことに。

3 災害時支援について

- ・サポートブックの見直しを行っていく。
レスキューストックヤードの浦野さんに話を聞いたり、他市町のサポートブックを参考に、体験エピソードを入れる。また、災害が起きた自治体に話を聞き、話を載せるのはどうか。
- ・当事者向けに避難所に行っても安心していただけるような、当事者向けのサポートブックを作成するのも良いかもしれない。
- ・避難所開設訓練については、来年度は 2 つの場所で行っていくということで、また部会としてどのように参加していくのか具体的に開催校が決まり次第、決めていくことに。
- ・コミュニケーションボードを入れるのはどうか。冊子の後ろにまとめることができればよい。

4 今後について

虐待について

- ・相模原障害者施設事件の話を出していきたい。
- ・職員に対して虐待はしてはいけないというが、利用者からの暴力が引き金になっていることが多い。そうならないためにどうしたらよいか。
- ・関わり方が悪いのではという考えを持つ方もいるが、表現が分からないので、手が出るのではないか。服薬を勧めても虐待と言われてしまう。

5 その他

3 月 11 日に障害者差別解消法講演会を実施する。講演は 60 分で講師は名古屋市障害者差別相談センター吉川さんに行ってもらおう。

- ・今までは日常生活の差別についてだったが、職場等の中での差別についても説明していただく。
- ・サポートブックとヘルプマークの説明について行っていく。
→愛歩興柊さんにサポートブックの説明をしていただく。
- ・部会員については当日参加者として参加する。

今回確認事項

① 前回の振り返り

	② 障害者虐待防止勉強会について
	③ 災害時支援について
	④ 次年度について
	⑤ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第5回	権利擁護部会
日 時	令和元年1月21日（火）13時30分～15時30分	
会 場	中央福祉センター 集会室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
① 山田 達巳（欠席）	②
① 興梠 精視	③
① 大嶋 翔太（欠席）	④
① 鈴木 重行（欠席）	⑤
① 三林 紫帆里	⑥
① 志水 くに子	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

（市職員）

① 野村 圭一	② 桑島 萌
③	④

（事務局）

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 6 回	権利擁護部会	
日 時	令和 2 年 3 月 17 日（火） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分		
会 場	中央福祉センター 集会室		
出 席 者	部会員 4 名	市職員 1 名	事務局 3 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり）		なし
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 成年後見制度勉強会について		
	③ 障害者虐待防止勉強会について		
	④ 災害時支援について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <p>2 次年度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートブックの在庫がなくなる。良い機会になるため、サポートブックの見直しを行っていく。 ・コミュニケーションボードを入れたものにしていく。 <p>・市の職員向けの避難所コミュニケーションセミナーに野村さんが出席した為、報告いただく。</p> <p>・コミュニケーションボードについては聴覚障害が主だった。はじめに講義があり、非顕在化する障害者について話があった。障害者は避難所に来ない。避難する人にとっても知らないのがいけない。そもそも避難訓練に来ない。</p> <p>・特別扱い、配慮がずるいと思われてしまうことがあり、配慮を受けて初めて健常者と同じになるということを知ってもらわないといけない。</p>		

・避難所のケース紹介があり、グループワークと、豊橋総合大学の先生が仕切って聴覚障害のかたのコミュニケーションボードが良くできている。

障害ある方が避難所訓練に来ないのは、言葉の意味が分からない。用語が難しいという部分があると思う。

そういうことが学ぶ機会があると良いね。

コミュニケーションを取るところで、ニュースの緊急地震速報の字幕を出してもらった。一度に理解できない。

・豊橋のデータもいただくことが可能ということだったが、そのまま利用することがもったいないので、日進市のオリジナルのバージョンを作っていたらと思う。

・体験談をのせると読む人が増えると思う。

もらった状態スタートラインということをお伝えしていく。

虐待の→当面は、サポートブックの作業をしていく。

豊橋はどうやって作ったか。→作成段階に当事者入れて作ったのか。

災害時支援について

ワークショップからではなく、当日の身や、一部分だけの参加にするか。部会としてどうかかわっていくか。

→途中からだど、疎外感がある。ワークショップに全て参加するからわかることもある。

サポートブックを作る時、危機管理課に来てもらえると良いかもしれない。どこに配布するか。印刷の仕方等で決めてもらっていた。

→今回も危機管理課にお願いできたらと思う。

・訓練も障害者の人参加しない。

・次回一人ずつどのようなものが良いか案を出していく。

・他の市町村では、特殊加工でホワイトボードの様にかけるようになっている。

・コミュニケーションボード

以前は消防署を回ってコンビニを回ろうというところとなっていた。商工会にお願いしていくのはどうか。

→商工会だと全てまわらない。お助けカードを以前作っていた。消防署と同じようなもので、材質を重視すると、コストがかかってしまう。

次回参考にできるものを持ちより入れたい案等を持ってくる。

・メインはサポートブックにし、差別解消法や障害者虐待、成年後見についても行なっていくこととする。

今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 障害者虐待防止勉強会について
	③ 災害時支援について
	④ 次年度について
	⑤ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第5回	権利擁護部会
日 時	令和元年1月21日（火）13時30分～15時30分	
会 場	中央福祉センター 集会室	

専門部会員	その他参加者
① 近藤 泉	①
① 山田 達巳（欠席）	②
① 興梠 精視	③
① 大嶋 翔太（欠席）	④
① 鈴木 重行（欠席）	⑤
① 三林 紫帆里	⑥
① 志水 くに子	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

（市職員）

① 野村 圭一	② 桑島 萌
③	④

（事務局）

① 梅村 英子	② 山 歩美
③ 太田 岬来	④